

おおい なおゆき  
**大井 直住**

地域保健医療研究センター 教授

NAOYUKI Ooi

E-mail: ooi.naoyuki ※アカウントの後に「@shitoku.ac.jp」を加えてください



| PROFILE     |   | ACTIVITY  |
|-------------|---|---|
| ■学歴・学位      | 金沢大学医学部医学科卒業（1982）<br>東北大学大学院医学系研究科学位（医学博士）（2003）   | ■主な学会及び社会活動<br>1) 日本運動器科学会理事<br>2) 日本運動療法学会理事<br>3) 日本リハビリテーション医学会代議員<br>4) JRAT（日本災害リハビリテーション支援協会）<br>5) 福島県障がい者スポーツ協会医学委員会<br>6) 日本スポーツ協会公認スポーツドクター<br>7) 日本パラスポーツ協会パラスポーツ医   |
| ■主な職歴・資格    | 自治医科大学附属病院整形外科勤務（1982）<br>友愛記念病院整形外科部長（1991）<br>東北大学医学部附属病院理学療法科助手（1995）<br>東北大学医学部附属病院リハビリテーション部副部長・講師（2000）<br>埼玉医科大学総合医療センターリハビリテーション科講師（2003）<br>埼玉医科大学総合医療センターリハビリテーション科助教授（2005）<br>弘象会東和病院整形外科部長（2007）<br>福島県立医科大学整形外科准教授・リハビリテーションセンター部長（2014）<br>福島県立医科大学リハビリテーション医学講座主任教授（2016）<br>長野保健医療大学地域保健医療研究センター教授（2023） | ■主な研究論文・著書等<br>1) N. Oi, M. Itoh, Y. Tobimatsu, S. Konno, S. Kikuchi, T. Iwaya, Glucose uptake level is decreased in affected lower leg muscles of hemiparetic persons during level walking, Tohoku J. Exp. Med., 237, 307-315, 2015.<br>2) 大井直往、野村 潤、鳴原智彦、菅野健一、佐藤真理. 【大規模災害下でのリハビリテーション支援を考える】令和元年台風19号に伴う災害における福島JRATの活動について. MEDICAL REHABILITATION, 272, 67-72, 2022.<br>3) 大井直往. リハビリテーションスタッフがかかわるチーム医療最前線 10.新型コロナウイルス肺炎患者に対するチームでのリハビリテーション診療について 福島県立医科大学附属病院. Journal of Clinical Rehabilitation. 30, 1501-1505. 2021.<br>4) 大井直往、中村隆一監修 入門リハビリテーション医学第3版 医歯薬出版 東京、2007.<br>5) 大井直往、大規模災害時の運動器の健康維持、日本整形外科学会、日本運動器科学会監修、コモディティシンドローム診療ガイド 2021 文光堂 東京、2021.<br>6) 大井直往、運動器不安定症、土屋弘行、紺野慎一、田中康仁、田中栄、岩崎倫政、松田秀一編集、今日の整形外科治療指針 第8版、医学書院 東京、2021. |
| ■研究分野・キーワード | 運動器リハビリテーション<br>地域リハビリテーション<br>災害リハビリテーション<br>障害者スポーツ<br>整形外科学  | ■その他<br>福島県立医科大学保健科学部非常勤講師  |
| ■担当授業科目     | 障害科学II、リハビリテーション医学、多職種連携学   |   |
| ■所属学会       | 日本リハビリテーション医学会<br>日本運動器科学会<br>日本整形外科学会<br>日本運動療法学会  |   |

MESSAGE FOR STUDENTS